

学校教育目標	学校教育目標 『自分とみんな いいな いいな 稲荷台』 【知】自分の考えをもち、自分の言葉で表現ができる子 【徳】互いのよさを認め合い、思いやりをもって、正しい行動ができる子 【体】健康な生活習慣を身に付け、すすんで運動に取り組む子 【公】地域とかかわり、地域を大切にする子 【開】豊かな創造力をもって、チャレンジし続ける子				
	創立 105 周年 児童生徒数: 378 人	学校長 中村 公俊 主な関係校: 岩井原中学校 富士見台小学校	副校長 大関陽介	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 5

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力  <言語能力>  <自分づくりに関する力>	岩井原中 ブロック  岩井原中学校 富士見台小学校 稲荷台小学校	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組  自尊感情を育み、高めていく子ども (+地域を愛し、ともに歩む子ども)  ・自分の良さを発見し、より良い自分になるようとする気持ちを育てる ・子ども会議で話し合ったことを全校で実践し、日常生活に活かしていく ・運動会、児童生徒交流会等を通して、交流を図り、互いの良さに気付く ・ブロック内の研究会等を通して、課題解決を図り、各教科の系統性を理解する
--	---	--

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、系統性を重視した言語能力を育みます。 ・1年目は語彙を豊かにし、感じたことを言葉にして表現できる子を育てます。 ・2年目は子どもの表現を大切にしながら伝え合う力を育てます。 ・3年目は伝え合うことで自分の考えを深め、双方向に学び合う子どもを育てます。 ○生活習慣を自ら整え、他者を理解する態度と自己を肯定する姿勢をもつ子どもを育てます。 ○日々の観察とデータの効果的な活用で子どもの変化を捉え、学校生活の充実を図ります。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 学習指導 担当 学力・評価研究部	①見通しや振り返りを通して自らの学習調整ができる主体性の育成 ②ICTを活用した学習支援及び家庭学習による学習習慣の定着③校内重点研による教師の授業力向上
<b>徳</b> 人権教育 担当 人権・児童指導部	①学校生活目標を意識した活動 ②一人ひとりの児童を認め、よさの発見と自尊感情・自己肯定感を高める活動を行い、保護者と共有を図る ③バディ活動の充実
<b>体</b> 健康教育 担当 体力・健康増進部	①運動への親しみ、健康管理の理解。「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化 ②あいさつ運動の充実「あいさつ、返事は心を込めて元気よく」 ③委員会や子どもの声を生かした中休みの充実
<b>公 開</b> 自分づくり教育 (キャリア教育) 担当 人権・児童指導部	①L-GATEを活用した「自分づくりパスポート」の効果的かつ継続的な運用 ②地域人材や外部講師の活用、学習活動での地域施設の積極的活用、人との出会い
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①日常の児童観察と情報交換の充実、YPアセスメント、いじめアンケート等の活用を通していじめに対して組織的に対応していく②子ども会議の参加と子どもによる未然防止の取組 が行えるよう、家庭や関係機関との連携、専任を中心に児童に寄り添い、迅速な対応を行う
<b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b> 担当 教務部・メンター	①学級部の役割の明確化と計画的な活動により、チームとしての組織的な動きを機能させる。 ②研修計画に基づくメンター活動を充実させ、授業力、児童指導力の向上を図る。 ③ICTの活用による事務の効率化と情報共有
<b>特別支援教育</b> 担当 人権・特別支援教育委員会	①校内重点研究を含む全教育活動を通して、児童の人権感覚と実践力を育てる。②児童の特性やニーズに合った支援・指導の在り方について理解と実践を図る。③児童支援専任、特別支援コーディネーター、重点研推進部が連携し授業や教室環境におけるUDの有意義な活用を実践する。
<b>保健管理・食育</b> 担当 健康増進委員会・食育部	①全教職員での情報共有を前提とした個人の健康状況の把握。保護者との情報共有 ②ゲーム・スマホ等利用の課題への取組を続ける ③食育のさらなる充実を図る
<b>安全管理</b> 担当 児童指導委員会	①危機管理(防犯・防災)マニュアルに基づく、緊急事態発生時の対応に関わる訓練と職員研修 ②地域防災拠点としての学校の役割の理解と、区役所・第3地区各自治会との連携
<b>地域学校協働活動</b> 担当 教務部・地域連携委員会	①すぐーるやWebでの家庭・地域への情報提供 ②学校運営協議会の運営と学校関係者評価の実施 ③稲荷台ユナイテッドの充実 ④ボランティアとしての地域行事への参加および福祉施設との連携